Working Voice

ワーキング ヴォイス

NO. 23 2011年 1月15日

長引く不況により新規採用の抑制や絞り込みがなされ、全国的に新規学卒者の就職事情は引き続き厳しい状況にあります。特に大学生の就職難は深刻で、厚生労働省の調査によると今春卒業予定の大学生の就職内定率は10月1日現在で前年同期に比べて4.9%減の57.6%となっており、1996年の調査開始以降では過去最低となっています。また、内定が取れないまま卒業してしまう学生の増加が懸念されており大きな社会問題となっています。

ワーキング ヴォイス1月号では大学生の就職状況や行政の就労支援をテーマとし、愛媛新卒応援ハローワーク（ハローワークプラザ松山・学生職業相談コーナー）の担当者の方に就労支援などをお伺いしました。また、松山東雲女子大学の就職指導担当の方に学生が就職に向けて取り組むべき課題や内定を得るための助言などをお聞きしました。

愛媛新卒応援ハローワーク（ハローワークプラザ松山・学生職業相談コーナー）の就職支援担当者の方に今春卒業予定の新規学卒者や既卒者（第二新卒）の就職状況や就労支援についてお話をお伺いしました。

Q1、今春卒業予定大学生の県内における就職状況について教えて下さい。

平成23年3月卒業予定の県内の大学生の11月末現在の就職状況ですが、就職希望者が2,937人（男1,444人、女1,493人）で、前年同期に比べ1.3%（38人）増加しています。そのうち、就職が内定した学生は1,669人（男781人、女888人）で、内定率が56.8%となっています。内定率が急激に低下した昨年同期の57.1%から更に0.3ポイント下回っており、ここ5年間では最も低い内定率となっています。

参考として就職が内定した1,669人のうち、県内の事業所に就職内定した学生は790人（男286人、女504人）で、内定者全体の47.3%を占めています。

Q2、愛媛新卒応援ハローワーク（ハローワークプラザ松山・学生職業相談コーナー）の概要について教えて下さい。

新規学卒者の就職環境が非常に厳しい状況であることを踏まえ、国の対策として、昨年の9月24日に大学等の卒業年次の学生や卒業後未就職の方の就職支援を行う専門のハローワーク、「愛媛新卒応援ハローワーク」をハローワークプラザ松山内に設置いたしました。

もともとハローワークプラザ松山の学生職業相談コーナーは、ハローワークが行っている新規学卒者の職業紹介業務のうち、大学院・大学・短大・高専・専修学校等の学生（既卒者を含む。）に係る職業相談、求人情報の提供、新規学卒求人の受理等を行っているのですが、従来のそういった取組に加えて、新卒応援ハローワークでは大卒就職ジョブサポーターを増員配置し、県内の各大学等にも連携・協力をいただきながら就職支援の充実・強化を図っているところです。

Q3、どのような就職支援を受けることが出来ますか。

愛媛新卒応援ハローワークの具体的な支援内容ですが、メインは大卒就職ジョブサポーター等による求人開拓ときめ細かな個別支援ということになります。今月からジョブサポーターを3名増員して、現在9名体制で支援が必要な学生や既卒者のサポートを行っています。

まず求人開拓に関しては、今年度においても厳しい就職環境が予想されていたため、春の段階からジョブサポーターが中心となって事業所訪問等による求人開拓を精力的に行い、11月末現在で管内の事業所から昨年度を27%上回る590人の新規学卒求人をいただくことができました。現在も一般求人を含む新規求人の量的確保のために月200件ペースで事業所訪問を継続しており、特に求人意欲のある中小企業へのマッチングを集中的に実施することにより、一人でも多くの学生が内定を得ることができるよう取り組んでいます。これらの開拓求人を含む現在応募可能な求人情報は、新卒応援ハローワークに展示しているだけでなく、インターネットによる閲覧も可能となっています。また新卒応援ハローワークに学生登録をしていただければ、求人情報を定期的に郵便でお届けしています。逆に、求職登録をした学生のうち希望者についてのみ名前を伏せて自己アピールなどを掲載した求職者情報を定期的に作成して求人事業所に提供しており、事業所からのリクエストに応じてハローワークが間に入って学生とコンタクトを取り、求人事業所とのマッチングを行っています。

次に、きめ細かな個別支援ですが、まず大学等に対してはジョブサポーターが分担して学校ごとの担当者を決

め、必要に応じて学校を訪問し、内定状況や支援ニーズの把握、各種施策の説明や学生の希望に添った迅速な求人情報の提供、セミナーや出張相談の実施など連携強化を図っています。また学生に対しても、原則として個別担当者制により一人一人の状況に応じた支援を行うこととしており、今後は就職決定を目標に個別求人開拓も含めた支援体制を強化してマッチングの促進を図っていくことになります。

また、厳しい就職環境の中で就職活動が思うようにうまくいかないなど様々な不安や悩みがある方に対して臨床心理士による心理的サポートも週３回実施しておりますので、気軽に利用していただきたいと思います。

Ｑ４、新規学卒者や既卒者（第二新卒）を対象とした求人は紹介してもらえますか。

事業所から新規学卒求人を出していただく際は、できるだけ既卒者の応募も可能とするよう採用枠の拡大をお願いしております。昨年 11 月 15 日に雇用対策法に基づく青少年雇用機会確保指針が改正され、事業主が取り組むべき事項として、新卒採用に当たって少なくとも学校等を卒業後３年間は応募できるようにすることなどが追加されました。また、厚生労働省では、卒業後３年以内の既卒者を採用する企業に対する奨励金を創設し、対象求人の件数は県内で 500 件を超えていますが、新卒応援ハローワークに求職登録していただいている既卒３年以内の方には、２週間に１回この求人情報を郵送で提供して面接希望があれば紹介をしています。もちろんそれ以外の一般求人や採用枠を既卒者まで拡大された新規学卒求人であれば応募することも可能です。在学中の学生については、新規学卒求人だけでなく、卒業見込みがあれば一般求人への応募も可能です。

Ｑ５、就職先が決まっていない大学生や既卒者（第二新卒）に就職活動の助言をお願いします。

まずは新卒応援ハローワークを利用していただきたいということです。大学の方にも在学生や既卒者に対して新卒応援ハローワークの周知や誘導をお願いしているところですが、支援を受けていただくためにはハローワークに行けば個別支援をやっているということを知っていただき、利用していただくことが必要です。

それから、利用の際は、大卒就職ジョブサポーター等の求人開拓により、新しい求人の確保ができている場合があるので、定期的に求人の確認を行ってほしいと思います。応募企業を選定する場合も、中小企業の求人が多くなりますが、企業の規模やネームバリューにこだわるのではなく、企業理念や実際の仕事内容等に目を向け、企業研究をしたうえで応募をしてほしいと思います。毎年、せっかく就職したのに短期間で離職してしまう人が少なからずおられるので、就職した会社にずっと長く勤めること、職場に定着し、安定した職業生活を継続して送ることも念頭に置いてください。

厳しい就職環境の下で就職活動をされている皆さんの中には、自分の方向性が決められずにいたり、なかなか就職が決まらず、果たして就職できるのだろうかと不安を抱えている方もいらっしゃると思いますが、ハローワークではそういう悩みや不安も受け止めて、ジョブサポーターを中心に就職に向けた支援をとことん行いますので、是非ご来所のうえ相談してみてください。なお、松山近郊以外の地域の学生は、最寄りのハローワークでも支援を受けられますので相談してください。県外の大学等に在学している学生も各都道府県に設置されている新卒応援ハローワーク等に相談していただければ、愛媛県内の求人情報を入手することが可能になります。

最後に、新卒応援ハローワークをはじめとする国の新卒者・既卒者支援については、厚生労働省のホームページで詳しくご案内しておりますので、新卒者・既卒者や事業主の皆様に是非ご覧になっていただきたいと思います。（ホームページアドレス：http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2.html）

＜求人情報を見るには＞

① 新規学卒求人（全国）……ご自宅からでも「学生職業総合支援センター」のホームページにアクセスしていただければご覧いただけます。会員登録（登録無料）が必要です。（ホームページアドレス：http://job.gakusei.go.jp/F/F2000200.asp）

② 一般求人（全国）……ご自宅からでも「ハローワークインターネットサービス」のホームページにアクセスしていただければご覧いただけます。（ホームページアドレス：https://www.hellowork.go.jp/index.html）

※ インターネット公開を希望しない事業所の求人については、窓口でご覧いただいております。

＜臨床心理士による相談を受けたいときは＞

① 日　時……毎週月・水・金曜日（祝日を除く）の１４：００～１５：００

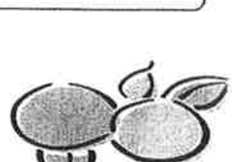
② 場　所……新卒応援ハローワークの相談窓口もしくはハローワークプラザ松山の「相談室Ａ」

③ 予　約……できるだけ事前に予約をしてください。電話による予約は、０８９－９１３－７４０３まで

●名　　称：愛媛新卒応援ハローワーク（ハローワークプラザ松山・学生職業相談コーナー）
●場　　所：〒７９０－００１２　松山市湊町３丁目４番地６　松山銀天街ショッピングビルＧＥＴ！４階
●連 絡 先：ＴＥＬ：０８９－９１３－７４１６　　ＦＡＸ：０８９－９１３－７４２２
●利用時間：（平日）８：３０～１９：００　（土曜日）１０：００～１７：００
※但し、日曜日、祝日及び年末年始（１２／２９～１／３）は休み

松山東雲女子大学、松山東雲短期大学就職進路指導課の石川課長と藤田係長に、貴大学を今春卒業予定の学生に関する就職状況や就職支援などに関してお話をお伺いしました。

Q1、今年度の学生の就職活動の現状や内定状況などについて教えて下さい。



本学における今年度の4回生の就職内定率は、11月末日時点で前年同月期と比較すると若干、下落している現状にあり就職事情の厳しさは正直、私たちも感じています。ただ、本学では学部学科の改組を実施し、子ども福祉専攻で「保育士」や「幼稚園教諭」を目指す学生が大幅に増えたのと、他の職種と比べて採用時期に違いがあるのも関係しますので、年度末に向けて内定率も上昇する状況にはあります。今年に限らず、早い時期から職業意識を高く持った学生は就職活動を熱心に行ないますので早期に内定を得ています。逆に就職活動の開始が遅れたり、消極的な学生は中々、内定が決まりにくい二極化状況が見られます。就職事情は昨年度以上に厳しさを増していますので、本学では独自の就職支援プログラムを通して学生の就職意欲を高めながら、厳しい状況下でも内定を得る為に就職支援に全力で取り組んでいます。

マスコミ報道などにより、大学生の就職内定率が今年度は過去最低水準となる懸念が頻繁に報道されています。また、非常に厳しい就職難の為に学生が就職に対する考え方や意欲に変化が見られ、心理的に萎縮や恐怖に感じているのではないかと思います。納得のいく仕事を決めてから卒業をしないと今後の人生において取り返しがつかなくなるのではないかと必要以上に危惧し、足踏み状態になってしまっていることも内定率悪化の要因ではないでしょうか。就職への不安を打破する為に、心理面においても十分にサポートをすることも心がけています。本学では、国家資格を活かした専門職での就職も多いため、内定率も100%近くになっており、厳しい就職事情においても非常に高い内定率となっています。

Q2、就職活動開始時期が早まっているため、学業との両立で苦労している学生にどの様な指導をしていますか。

学生が希望する業種・職種などにより就職活動の開始時期に違いがありますので、早いパターンと遅いパターンを十分に見極めるよう指導しています。最近の就職活動は早期かつ長期間に及びますから、内定を得られない状況が続いてしまうと就職活動自体に疲れ切ってしまい、学生が失わなくてもいい自信までも喪失してしまうことも多々あります。マスコミ報道や周りの友人知人の就職状況は気になるでしょうが、情報に惑わされることなく地道に取り組んで欲しいとアドバイスをしています。

早い学生は3回生の秋頃から就職活動がスタートする状況で、学業や部活動などの学生生活との両立で苦悩する学生は多いと思います。厳しい就職事情ですので出来るだけ多くの就職セミナーや企業説明会などに参加する必要があり、授業を欠席しなければならないことも理解できます。しかし、就職活動を優先しすぎて学生の本分である勉学や部活動の機会が失われることは、就職活動や就職後の職業人生にも影響が出ますので、十分に選別・精査をしてから出席するよう指導をしています。

また、選考課程で重要な筆記試験や面接以外であれば、学生の交渉能力を高める意味でも企業の採用担当者に、日程・時間などの変更を無理のない範囲でお願いしてみるのも必要だと考えています。

Q3、内定を得るために学生生活で取り組むべき課題や、面接などで自己アピールにつながる重要な要因は何だと思いますか。

充実した学生生活を送れた学生は就職活動で良い結果が出ている傾向はあると思います。具体的には勉学への熱心な取り組みやボランティア活動、サークル活動、アルバイトの経験などを通して多くの社会人に出会い、職業人として必要な知識や素養、感性などを多く学ぶことができた学生は採用側の評価も高まりますので内定に繋がるのだと思います。近年の企業は即戦力となり得る高いレベルの資質や潜在能力を兼ね備えた学生を求めていますので、職業人として必要となるコミュニケーション能力や資格の習得、パソコン技能の向上などを学生の時からバランス良く学んでおく必要があります。

いつの時代でも内定を複数、得ることのできる学生には特徴があります。何事にも自ら考えて積極果敢に行動できる能力が高い学生です。また、内定を「就職のゴール」と考えると内定が取りにくいとも思います。実際に就職してどの様に成長していくのか自分なりのビジョンを明確に持っている学生は、企業側も一緒に働きたいと思うでしょうし、業績に貢献できうる可能性のある職業意識の高い人物だと評価されるのだと思います。

近年では殆どの大学でインターンシップ制度があり、在学中に学生が短期間の就労を体験できます。就労体験をすることにより多くの社会人の先輩と接することができ、授業では経験できない多くの刺激を感じることができます。そこで感じた仕事に対する厳しさや楽しさ、やりがいなどを職業選択での材料とし、就職活動で活かしたい為に積極的に参加する学生も多くなっています。ただ、インターンシップ経験が就職活動で圧倒的に有利になるわけではありません。普段の学生生活から如何に多くの社会人や職業人として尊敬できる方や輝いている

方々と出会い、学んでいるかということが重要です。例えばボランティア活動に積極的に参加してみるのも良い社会経験となると思います。

Q４、就職に悩む学生やまだ内定を得ていない学生にはどの様な指導や助言をしていますか。

就職活動では自分自身をしっかり見つめ直し、自信を持って臨むようにアドバイスをしています。自信を持つことにより主体的に就職活動を行なえるようになります。厳しい就職事情で競争の中から内定を得る為には積極的な就職活動が必要となります。積極的だからこそ自身の「得意不得意分野」や「長所短所」が見えてくるでしょうし、周りから指摘を受けて初めて気付くこともできます。

まだ内定先が決まっていない学生の就職支援につきましては、卒業までに就職先が見つかるように頻繁に対話の場を持ち、アドバイスや相談業務を行なっています。外部のキャリアコンサルタントを招いて学生からの相談や悩みを受け付ける機会も設けています。一方では学生自身も希望する業種や職種を自身の適性や長所を尊重しつつ広げてみることは重要です。どの時代でも大企業や安定した職業、地元志向などに人気が集中しますが、就職後のミスマッチにならないように自分自身が大切に思っている事は何かということを考え、職業選択の幅を広げてみることは就職活動で苦戦している学生にとって非常に必要なことだと考えています。

本学ではキャリアコンサルタントによる「面接サクセス講座」を実施しており、より実践的且つ効果的な面接の手法について学ぶことができます。「面接サクセス講座」を通して学生同士で自己アピールの仕方について真剣に議論や指摘をし合うことができますので、今までに気付かなかった自身の長所や短所を早期に発見できる良い機会となっています。１月からはハローワークの学卒サポーターの方に本学まで来て頂いて、内定を得ていない学生に直近の就職状況や求人情報などを提供して頂くことになっていますので、少しでも内定に繋がればと考えています。卒業まで数カ月となりましたが、決して諦めることなく就職活動を継続してもらいたいと思っています。また、近年は行政においても既卒者に対して様々な就職支援が実施されるようになり職業訓練なども受講できますので、本学においても既卒者に対して、卒業後も就職に繋がるよう献身的な就職支援策の拡充を図っていかなければと考えています。

Q５、就職活動や職業選択などについて学生や保護者に助言をお願いします。

大学の就職指導担当の立場として思うのは、「内定を採る」ことだけに目標を置かないで欲しいということです。将来的に採用企業でどの様な貢献ができ、職業人・社会人としてどれ程の努力や成長が出来るのかの長期的ビジョンに照準を当て、面接等で強く自己アピールして欲しいと思います。保護者におきましては厳しい就職事情ですから不安や心配をされている方も多いと思いますが、如何なる状況でも温かく見守ってあげて頂きたいと思います。子どもの希望や適性をできるだけ尊重し、社会人の先輩として適切なアドバイスや経験談を伝えることにより、自信や安心感を持って就職活動や就職を前向きに捉えることができます。学生には勉学やサークル活動、アルバイト経験などを楽しみながらバランスよく真剣に打ち込み、学生の時にしか出来ない経験や人との出会いを積極的に求めて欲しいと思います。学生時にいかに多くの実体験を得るかが就職活動や今後の職業人生にも活かされますし、かけがえのない大きな財産ともなります。

今後とも行政や地元企業の経営者の方におきましては、厳しい経済情勢ではありますが新規学卒者が地域社会にとっての新たな働き手となれるよう、格別のご配慮を賜りたいと思います。また、昨今の厳しい就職難を地域社会で共有する大きな社会問題としてご理解、ご検討して頂ければと心より願っております。

●名　称：松山東雲女子大学　松山東雲短期大学
●場　所：〒790-8531　愛媛県松山市桑原３丁目２-１
●連絡先：　ＴＥＬ：０８９-９３１-６２１１（代表）
●Ｈ　Ｐ：http://www.shinonome.ac.jp

愛媛県委託事業：（平成22年度　労働者の声発信事業）
発　　行：社団法人　愛媛県労働者福祉協議会
〒790-0066　松山市宮田町１２５番地　愛媛県労福協会館　３階
TEL 089-946-2296　　FAX 089-947-5616
メールアドレス　e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp